

# Freude

vol. 17-19 2024.3.20 wed

3/27(水) 18:30 東海日教会  
4/3(水) 18:30 東海日教会  
4/10(水) 18:30 中東海日教会  
4/17(水) 18:30 (2/21号=2.2世団)

大阪フロイデ合唱団 団総会 (開催日: 2024年3月13日(水) 20:15~20:30)

※議案書・資料は2/21より配付(2/21、28、3/6) 質問・意見は事前受付、当日のニュースに回答記載

◆出席者数: 43名 (当日参加者: 39名 委任連絡: 4名)

全団員数 47名 (S17、A14、T9、B7) →総会は成立しました。

◆議案 1) 運営委員の選出と承認 → 拍手多数にて承認

団長: 吉田泉、総務: 杉田光治、広報: 粟野直子、会計: 辻井潤、監査: 山下芳郎、

パートマネージャー: S 川端多栄子・河野ゆかり、A 吉田泉、T 杉田光治、B 山下芳郎

2) 会計報告(2023年10月12日公演の決算報告) → 拍手多数にて承認

3) 今期収支計画 → 拍手多数にて承認

## ●出席団員

当日会場出席(39名): S 粟野、衛藤、加藤、川端、姜、河野、茂岡、才野木、高橋慶、西野淳、西野智、

松岡、森尾、和田、高橋優 A: 加藤、木村、清水、竹内、竹田、藤田敏、藤田幸、森口、安武、吉田

T: 岩井、衛藤、荻野、小岩井、小山、佐伯、杉田 B: 大森、金尾、佐々木、四方、山下、劉、成岡

委任連絡(団長またはパーマネに委任)(4名): S: 青木 A: 津田、山本 T: 宮下

●意見(3/13号ニュースを参照。以下は、当日出た意見に対する検討を記載しておきます。)

3) 今期収支計画について。チケット(現: S5000, A4500, B2500) 値上げの検討は?

チケット代は、2022年に、合唱団全体の進め方をみんなで検討した際、現在の価格となりました。それまでは前売価格(現実的には団員が売る価格)500円引でしたが、当日価格のみとし若干の値上げをした形です。これについて亀井先生より「現在、さまざまなことが値上げになっている、チケット代を上げる検討もするべきでは? 上げるなら、今、いろいろ値上がりしているタイミングで上げるのが受け入れやすい」との話をいただきました。

売りやすさも重要なので、値上げは慎重にしたいですが、価格を抑えて支出に見合うチケット収入を得るには、求められるチケット枚数も多くなることも事実なので、チラシ記載前にいちど、検討の機会をもちたいと思います。

※以下、参考として計算してみました。

●チケット価格&赤字にならないための必要枚数(演奏会支出を総会資料通り3,145,000円で計算)

現価格5000・4500・2500(平均単価4840)→650枚(47名一人平均14枚)3,146,000円

検討例5500・5000・3000(平均単価5340)→589枚(47名平均12.5枚)3,145,260円

●ひとり当たり拡大が前回と同等だった場合の協力金予想

前回モーツァルトレクイエムでは634枚拡大。56名だったので一人平均は11.3枚。

今回も平均11.3枚(曲が違うので一概には言えませんが)だとすると、47名で $11.3 \times 47 = 531.1$ 枚

現価格(平均単価4840)で531枚の場合、チケット収入2,570,040円。574,960円赤字。

574,960円の赤字を47名で割ると、12,234円/人の協力金が必要、ということになります。

検討例(平均単価5340)で531枚の場合、チケット収入2,835,540円。310,460円赤字。

$310,460 \text{円} \div 47 \text{名} = 6,606 \text{円/人の協力金}$ 。

日常会計は現時点で175,000円の赤字予想(協力金3,724円/人)(総会資料参照)。できれば演奏会はチケット収入でまかないたい、協力金を集める必要がないようにしたいです。他の演奏会のチケット代と比較したいですが「いずみホールでプロの音楽家といっしょにオーケストラと合唱の演奏」事例がなく、参考にしにくいです。難しい判断ですが、チケット拡大すること、赤字時は協力金が必要になること、等、各自、考えておいてください。

総会後に個別で質問をいただきました。

同様の疑問を持たれている方もあると思います、質疑内容及び回答を記載します。

## ■練習会場について

Q.主要会場が東梅田教会なのは理解。しかし小田北生涯学習プラザは疑問。

「大阪」フロイデ合唱団なのに？ 外部に説明するのも「練習会場が尼崎」と言うのは言いにくい。

大阪駅から近いと言っても不便な人も居る。団長と総務担当が自分の便利なところで決めたのでは？

A.会場選定について、説明不足でした。都度、口頭では説明していたつもりですが、不足していましたね。

疑問の気持ちは理解できます。特に、職場やご自宅から尼崎が遠かったり不便な方はそう感じられると想像します。

川口教会が使えなくなって、新しいメイン会場決定を急いだため、説明不足だったと思います。以下、回答します。

①大阪フロイデ合唱団が、大阪府以外の会場を主要会場に据えるのはおかしい。外部に説明しにくい。

→スママセン。おかしいと言われれば「そうですね」という以外ないです。では、なぜ選んだか。②以下を参照ください。

②なぜ東梅田教会だけにしないのか？

→東梅田教会を毎週使えればモチロン、ベストでした。しかし教会から、夜間の練習終了まで残ってくれるスタッフボランティアの関係で、月2回までにしてほしい、とのこと。また、月一回水曜に「落語会」が入る（日程は落語会開催の前の月にならないと決まらない）長年の常連なので、使用希望が重なる際は落語会優先で、とのこと。

こうした事情から、東梅田教会と、もう一か所、メイン会場を探す必要がありました。どの水曜日を東梅田教会にするか、ですが、落語会日程の決定後では、他会場の予約に支障が出ます（公共施設の多くは半年前予約&使用日3ヶ月前以降のキャンセルは料金を取られる。）そこで、次のようにスケジュールを決めることとしました。

i) 東梅田教会以外のメイン会場を定める。その使用可能水曜日を確認・予約をする。

それ以外の水曜日について、東梅田教会に使用希望申請を出す。

ii) 東梅田教会の落語会日程が大阪フロイデ使用希望日とバッティングしたら、その日は東梅田教会の使用は落語会に譲り、私たちは別会場を探す。使用日の一ヶ月前なのでその時点で空いているところを探す。

当該月は東梅田教会使用が1回のみとなる。（落語会日程バッティング以外の日での東梅田教会使用日を新たに設けることは行わない。新たに設けるには既に予約している他会場をキャンセルすることになり、使用日前月時点でキャンセルすると使用料金全額がキャンセル料として発生するため）

iii) 以上より、東梅田教会以外に、メイン会場になるところ、と、どちらもダメだった場合に使う候補、を決めておく。

また、シーズン後半の練習では本番に向けて「広い会場」での練習が必要なため、その候補も決めておく。

③東梅田教会以外の、メイン会場選定の基準は？

a. 所在地：大阪は広いので、どこを拠点とするかは難しい判断ですが、一つの基準として、

職場の多くが集まる「梅田」「難波」を拠点と据え、そこからあまり時間をかけずに到着できるところ、の考え方。「梅田」「難波」からの交通の便。駅からの徒歩距離。交通の便がよければ、周辺県も検討範囲。

b. 施設への希望：合唱練習、分かれて練習、ができる。

できればピアノが、合唱会場、分かれて会場ともにあると助かる（キーボード運搬が困難なため）  
合唱練習会場は、適度な広さが欲しい。響きがデッドでないことが望ましい（吸音しすぎない内装材）

c. 使用料：川口教会が2室で13000円だったので、同等か同等以下が望ましい。

#### ④決定の流れ

→団長と総務担当が自分の便利なところで決めた、と思われるのは大きな誤解です。非常に悲しいです。

・会場使用の最終決定は、私たちの合唱の練習会場として使えるかどうか、亀井先生に決めていただいています。決定への流れについて説明不足だったため、そのような誤解が出たのかもしれませんが。以下、決定への流れです。

##### i) 会場候補集め

総務担当が会場候補を集める。団員からの情報やネット検索等。及び、これまで使った会場の再検討。候補のうち使用可能かどうか現地確認が必要なものは、団長・総務で現地に行き確認。

ex.) 現地確認で NG になったところ：団員からの情報の「天満教会」は水曜日に別団体が入っていた。

##### ii) 亀井先生と相談。候補を絞り込む。

亀井先生と相談の時点で、主要会場候補から外れる会場の基準は以下の通りでした。

###### a. 「梅田」「難波」からの到着時間がかかってしまうもの。

距離的には遠くなくても、電車が各駅しか停まらないなど、ときどきならよいが、毎週は行きにくいなど。

ex.) 団員からの提案のうち、八戸ノ里、曾根、吹田、箕面などが、該当しました。

###### b. 民間の会場で、通常一般貸しは行っていないが、紹介してくれた団員が所属（関係者）していることで、貸してくれるタイプのもの。ありがたい提案だが、日常メイン会場使いでの継続使用は、難しいと考えました。他の会場が無いときの単発利用であればお願いしたいですが。

ex.) 団員が役員をされている団体の体育館。団員が通学している学校関係。

###### c. ピアノが無い会場。… ex.) 此花区民センターは 2 室借りても 5000 円弱という使用料ですが、電子ピアノしかなく、その音は耳に痛いもので、持参キーボードの方がマシとのこと。（亀井先生）

###### d. 分かれて練習ができない会場。

候補会場で音を出せる部屋が一か所しかなく、仕切ることもできない場合。

（区民ホール程度の広さがあれば、ステージを緞帳で仕切って可能だが、その広さが無い）

ex.) 団員からの提案のうち、ドーンセンター、エルおおさか

###### e. 分かれて練習は可能でも、全体練習用の部屋が狭すぎる会場。

ex.) 団員からの提案のうち、ムジークシューレ大阪、ココプラザ新大阪

##### iii) 絞り込んだ候補で、広さ・響きの確認として試しに使ってみる。亀井先生に響き等、判断していただく。

大国町の omc グランドピアノスタジオは、できないことはないが、狭いことは狭い。音取りはできたとしても、響きの確認は無理。また会場の 3 階まで狭い階段しかないのも難。として、メイン候補からは外しました。

#### ⑤練習会場として最終的に、次のようなラインナップとなりました。

##### ○メイン会場：東梅田教会、小田北生涯学習プラザ

全体練習用、分かれて練習用、2 室あり、2 室ともピアノがある。（キーボード運搬の必要がない）

2 室で、東梅田教会は 10000 円、小田北は 10440 円。どちらもピアノ込みの値段。

##### ○メイン会場が使えないときの会場候補。→これまでに練習で使った経験があり、亀井先生も了解されているところ

・大阪市の区民ホール・区民センター。（ピアノ・ライトを入れると 17900 円）

特に、響きとしては、天王寺区民センター。大淀コミュニティセンターをまずあたる。

（港近隣センターは大阪市区民センター管轄としては破格の 6000 円程度なので使いたいところですが、水曜日は別団体が埋まっています。）

・クレオ大阪東（ピアノ代入れて 10000 円程度だが、分かれて練習が倉庫 & キーボードとなるため、

主要会場として使うにはツライ）クレオ大阪中央は響きに難あり（亀井先生）クレオ西、南は水曜別団体。

・梅田・難波からそれほど時間がかからずに到着できる会場として中央南生涯学習プラザ（阪神尼崎）

（中央南生涯学習プラザは、以前にも使ったことがあります。亀井先生に紹介していただきました）

なお、川口教会が使えなくなり、東梅田教会を月2回使えそうだと見えたのが1月中旬でした。2月3月4月の東梅田教会以外の会場予約は、そこからのスタートとなりましたが、予約は半年前から動いているため、小田北も馴染みのある区民センターも既に埋まっていることが多かったです。

特に4月は主な区民センターが全部ふさがっていたため、中央南生涯学習プラザになりました。

以上、長くなりましたが、できるだけ網羅した説明を記載しました。

勿論、だからと言って「大阪フロイデ合唱団」なのに小田北はおかしい、ということの答えにはなっていないと思います。また「梅田」「難波」を拠点と考えてそこからあまり不便でなく到着できる場所、という基準も、人によっては、全然便利ではない、理解しがたい基準、と思われるでしょう。

ただ、全ての人にとって満足、というふうにはならないので何かの基準を設けることとなります。上記内容から、費用やキーボード運搬等、さまざまに考慮した上での決定だということで、理解いただきたいと思います。

## ■補足 運営委員について

今回「団長と総務が自分の便利なところで決めたのでは」と思われた方がいたことを、本当に残念に思います。ここで、各運営委員の主な仕事について、改めて説明しておきたいと思います。

- ・総務（杉田さん）練習会場関係・予約・支払い・ホールとの対応・先生の指示による設営・運搬など全般。
- ・広報（栗野さん）チラシ・チケット・プログラム制作全般。内容やデザインイメージを考え、印刷屋さんに指示 & 上がってきたものをチェック、内容は亀井先生に確認していただき修正。最終稿で印刷指示。  
実は長年頼りにしていた印刷屋さんの担当者が昨年退職、新担当がまだわからないなど、苦勞されています。栗野さんには、懇親会も設定してもらっています。人数把握や店との交渉など、面倒なことを担ってくれています。
- ・会計（辻井さん）総会時に説明した通り、休団中ながら記帳等細かく処理。
- ・監査（山下さん）本番後会計報告案が出来た後で、領収証等、全チェックを行います。
- ・パートマネージャー 休んでいる方への連絡。また、ステージシートの初期案（これをベースに練習で亀井先生に響きを聴いていただいて、修正していきます）は毎回苦心して作成されています。

コロナ以降「運営委員会会議」の開催ができておらず、経費削減から事務所も閉めたため、各委員の仕事は基本的に団長との確認ですすめて、他の委員との共有は必要時に練習会場で確認、というイレギュラーな状態です。そのため「団長と該当委員で勝手にしている」ように誤解されているのかもしれませんが。

しかし全て、練習や演奏会にかかわることなので、どの内容も案を作ったのち最終的には、演奏の最終責任者である指揮者の亀井先生に見ていただいて、決めていただいています。そこを、あまり詳しく説明してこなかったのが団長の怠慢で、誤解のもとだったと反省しています。

運営委員以外にも、団費受付や、チケット受付など、相当な作業負担で役割を続けてくださっています。

こうした、日々の役割を担ってくれる団員の方々が居るからこそ、毎週の練習が成立していることを、あたたかく理解していただきたいと思います。そして、決定内容に協力していただきたいと思います、心から願います。

よろしくおねがいいたします。

団長 吉田泉